此 ニ揚グ ル寫眞圖ノ左方ニ示スガ如ク普通ノやまぐるま一名とりもちのきデアル ガ 同圖 ノ右方ニ示

八重唉ニナッタおほばなのえんれいさう

示スモ は が如 ヲ想ヒ起サシメル態ヲシテ居リ、果實ハやまぐるまノ樣ニ上ガ平ニナラズシテ丸ク突起シテ居ル葉ハ此圖 ノヨ グク葉柄 兩種ノ學名ハ左ノ通リ、 リハー層細長クナル方ガ通例デアル是レハ全然やまぐるまヨリ區別スベキ種デながばやまぐるまト 長クテ特ニ基ノ方程紅ク葉身ハ長ク鋸齒ハ波狀デアッテやまぐるまノ様ニ 丸クナク一見ゆづり

ながばやまぐるま

やまぐるま

Trochodendron aralioides Siebold et Zuccarini, Flora Japonica, I. p. 83, tab. 40 (1838). (產地)本島(信濃、下野以西)、四國、九州、琉球、臺灣、

Trochodendron longifolium Maximowicz, Index Seminum Horti Petropolitani, 1865, p. 34.

(産地) 本島

武 田

理學

博士

算シ三個ノ瓣片ハ雪白色デ且ツみやまえんれいさうニ於ケ ト異ッテ著シク開張スルカラ之ヲ見ルトキビキビシテ甚ダ 日本ノえんれいさら中最モ立派ナ種類デ花ノ直徑ガ六七糎ヲ おほばなのえんれいさう (Trillium kamtschaticum Parr.) ハ

おほばなのえんれいさうノ二重吹

樂デナイカラ園藝植物 テ眺メルコトハ鳥渡實行シ難

ŀ **≥**⁄ 地ヨイ程デアル、唯惜

イコトニハ東京アタリデハソノ栽培

ガ 心

ガアル

ク右

次第ヲ ノ株

誌上ニ ラ年

ゲ w

タラ今後

野

外

ラサ

ル方

A

麥 力

考 ヲ

> y jν

文 由

幸

=

シ

テ

斯 ハ

ŧ

1

ヲ デ

發見 7

ノ現象デアル v

確

ナ

1

ノ

寔

遺

慽

n

ガ シ

斯樣

がナ花

=

力

·々出

Æ

力 大夫共唯 テ誤

タ

ナイ

デ

ァ

ラ

七三三百等)

ニ出テ居ルガ肝腎ノ花ノ主要部ノ圖ガナイ

ノデ遺憾ニ思テ居タガ本年三月畏友廣瀬

E

海

君

溫

こんにゃく

例デア スル、 第デア キ筈ノ ロダ面白 農學士松 テ Ż æ n, h 7 n 其標品 思 野孝 ガ = 滅多 唯 z ッ 場合 Þ 雄 5 ガ頃 君 花ノ構造、二變化ガ起ラナイ様デアル 個 類デ 花 シ デ ガ甞テ札幌在學當時おほばなのえんれいさラノ八 日 ノミデアルガ花 力 ハ 夢片 へ普通 存 间 君 在 ゙゚ヵ゙゙゙ シ カラソ 瓣 ナ イ、 がまる えん ノ標品 ラ n 由 " シタ譯デ 直徑約六糎ヲ算シ三個 テ思 ヲ送ラレタノヲ見 おうニ フ 瓣片 = ハ 毛頭ナイ然シ 力 ガ昨 ノ內列 ガ存 年 在 ノ瓣片 ノ春美濃 N シ ۲ ノ募片トニ列ニ タ 更 如何 ,リ叉 ハ 八重咲ノモ級ノ岐阜ニ ソノ 雄蘂 缺 = 如 Æ 內 ッ ノ外 ス 方 ノ通 N ナ 行 事. ノヲ發見 刻 = ッ 列 y ッ Ż タ時 ナノ 7 タ六個 Æ N 雄蘂 w 1 同 ガ變 デ シ ルヲ見 大 1 刄 地高等農林學校 トト言 形シ 瓣片 賟 jν ト六個 味ヲ ŀ フ ガ ダ 話 無 モ ガ 朗 感 ヲ 1 ジ 聞 方 ŀ r = 存を次 敎 見 N 1 ガ 授 H

次第デアル

テ

ソ

V

ヲ

シ/

得

位

置 揭

7

jν

方

\tau

=

ŀ ッ 觀察 時偶發

テ

モ

無

益

ナ

3

ŀ

デ

ナ

カ

ラ ŀ

ゥ ナ メ

ŀ

考

=

拙

文

ヲ カ

草

ス

N

3

ŀ

こんにゃくノ消化問題ト其花

貫ヲ上下シ價格モ年々ノ騰貴ニヨリテ七―八百萬圓ヲ突破スルノ情况デ農産物デハ中々重 、此植物ノ全形並ニ花部ノ輪廓ノ圖ハ成書(例へバ草木圖說、草部卷十九第九圖版、牧 即チ蒟蒻 (Amorphophallus Konjac K. Koch.) ノ我日本ニ於ケル生産ハ已ニ今日ニ於テ 野先生 葽 プル地位 H 本 ハ年額壹千萬 植 Ŧ 占 物圖 メ / テ居 鑑 第

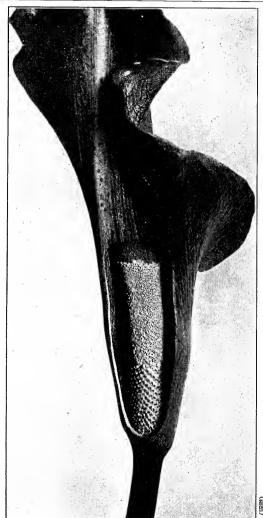
緖

方

正,

資な

こんにゃくノ消化問題ト其花ノ狀



こんにゃく (Amorphophallus Konjac K. Koch.) ノ花 廣瀬巨海君ノ溫室ニテ開花セシモノ、佛燄苞ノ側面ヲ

本

植 デ

花

シ

タ 物 開

デ

花基

要 得

ヲ

3 撮

IJ

參

切開シテ雌(下)雄(上)ノ兩花ヲ示ス 幷 ŀ テ ガ 氣 = テ 同 本 棒 此佛 居ル 誌 好 狀 附 種 際 デ プ花 燄苞

ヲ

取 ァ

ス

7

=

ンナン」ト稱スル多糖體デ此物質ニ ノ砂ヲ除 砂 ルガ殆ドスベテノ人間 拂 1 ٤ ダ ナ N 力 タ 問 ŀ タ

樣

ガ ヲ 地 7

IV 上

デ 落 消

液 ナ 笑話 蒟蒻 ノ食タ蒟

何

Æ

岃 位 = ガ ŀ

7 ァ セ 化 同

n

此

點

力 ラ 荔 杯 ナ

云

フ

純無垢

人間

ハ蒟蒻ヲ食テモ素通リヲサ

粘 ŀ

液

グ

人間 / 惡臭ヲ

ス _\\^N

> 力 事

シ 實

1

問

々話題ニ上ボ (Typhonium

N

=

۴

デ蒟蒻ガ

divaricatum

Decne.) ナゼ

ノ花

デ

Æ

遭 遇

ス

うき 力

5

砂 N

ガ 元 來

ッ

イ

テ 拂 題 ίÌ

ブフテ ハ時 んげ

Æ

中々取レナイ

ソノ手デ腹中

放

ッ 蒻

3

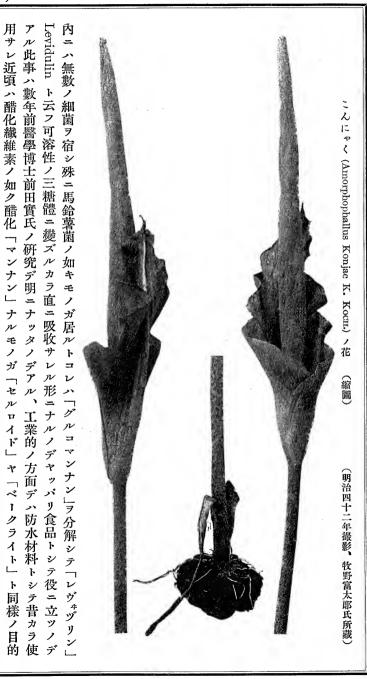
ガ

ŀ

ガ分ッタガ價ノ高キ爲ニ未ダ行キ渡テ行

レナイ

ヤウデアル

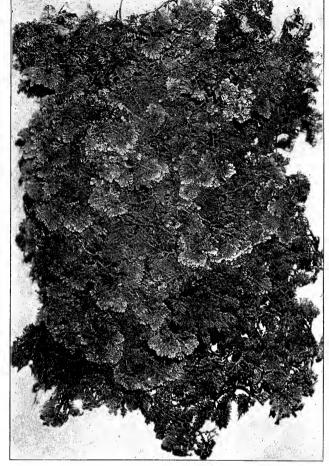


こんにゃくノ消化問題ト其花ノ狀

〇むくむくごけ臺灣ノ阿里山ニモ産ス







むくむくごけ (Trichocolea tomentella Lindb.)

廣ク地球上ニ分布ストラ産シ各地ニ知ラルト 得ベキモノニアラザル 得ベキモノニアラザル 精南西限トシテ文獻 最南西限トシテ文獻 大脚第四編ニ理學博士 八冊第四編ニ理學博士 の村周諦氏が報ゼラレ 岡八學存最ガ得モヲ村冊理ス南如ベ決産

ルレ士十大ニノルヲ

むく 臺灣 LARCH氏 IJ IE. 其異 むくご = + モ 四 樣 亦之 = 年 ゖ 3 ナ ヲ jν v = 葉 產 ハ **≥**⁄ 月 歐洲 形 テ ス 其 ヲ)U w 名 知 ヲ H テ n 知 緒 ハ 固 ٠, ヲ jν 方 得 平 ŀ べ E 原 和 べ 資 シ 及ど 名命 此 シ K 岡 苔 ガ 高 名 村 1 博 晑 Щ 慣 土 = ハ 回 產 例 H 里 ハ 通 之 本 ス Ш 則 v n 植 = ヲ 物 ŀ = 於 從 あ ノ 몳 テ をじろ 採集 鑑 Ŀ = 先キ ŀ = ナ Æ サ jν <u>ئ</u> ج 揭 = 吉永虎 ガ゛ Ш タ ţ; S 我 サ v 國 蘚 v 馬氏 ごけ 岡 苔 = 於 村 類 , テ ŀ 博 中 命名 特 士 = 通 稱 此 常 精 セ ス 種 Щ **≥**⁄ v 緻 1 ١, 地 モ ナ 存 ji = モ ス 產 ナ 元 温 N IJ 來 7 ス 7 本 w n N 種 ヲ =. = 以 似 徴 原 テ ス タ 之 稱 IJ V 余 =

)東京植物同好會野外採集ノ記事 (第

囘

曾

ラ

金

時

Щ

中

腹部

ニンファ

得

タ

jν

=

ŀ

7

IJ

東京植物同好會々員 篠崎信四郎

天 入 物 Y 頭 3 地 ŀ. 間 Æ ッ = , Ŧ 中 ` 對 話 味 間 五 = 宛 シ ヲ = 年 芳醇 悠 テ ス Æ 實 極 ス n K 月 樂 ラ 樣 デ 自 = ノ例 無 園 極 デ ア 適 N 腿 ヲ ゞ 植 ス • 會 遊 テ 物 w 知識 心 ハ F. 會 者 = + 硘 關 安 ノ ハ 日ノ ガ ハ ク ス 指 夫 親 逐 N N 導 v 第二 觀 者 聖 次 2. 事. 間 = ガ Ŋ 人 聚積 乎、 日 ァ ガ N 矅 出 結 N 限 併 H 來 ij 網 セ 我 東京 _ ラ 壆 カ N 7 催 1 v Æ N 知識 牧 サ 吾 デ 植 ッ 物 A r 野 v ` タ 7 N Ŧ 先 同 ハ 徒 丽 述 生 好 w 神奈川 , ブ ガ 會 = ₹/ デ 無 テ 植 jν K ァ 爲 本 物 モ 縣 會 w = ヲ ガ 大自 杉 此 時 ŀ 手 1 田 = ヲ 採 ハ = 思 於 過 集旅 力 シ 然 ラ金澤ヲ テ テ ス 講 力 直 Æ 行 ν 此 1 ナ 話 面 ハ 會眞 1 デ 1 サ **≥**⁄ 經 從 ッ テ ハ V ナ テ逗子ニ = デ ッ jν 1 言 意 ŋ テ サ 毛 義 豐 會 此 7 行 間 ガ゛ 力 蒷 達 7 恰 確 ナ 同 = 於 ス N N Æ = , 人 N テ モ 植 現 採 デ 會 間 非 物 代 集 7 蒷 味 情 自 旅 ヲ w 同 ナ 有 行 士 發 N ガ

郞 デ會 不 藤 ス 井潔 夫、 n 者三 古 福 田 田 武 生 正 作 野 田 先 生 有 村 元新太郎 富元、 ヲ 筀 頭 竹 恩 本友 田 天谷庸三郎 **少**之、 經 介、 中 村定雄、 今藏熊 澤田武太郎 太郎 ラ ン フ 伊 /オ 1 吹 高 木村雄四郎 F, **爬** 井上 春 內 清 雄 原 孝、 田 小 野 **矢野宗幹、** 森茂樹 前 田 清 政 水 籾 藤 Ш 泰 松野 太 郞 重 太

東京植物同好會野外採集ノ記事

東京植物同好會野外採集ノ記

<u>b</u> 停 濹 是 能 道 7 h カ ス チ ŀ \$3 祝 蕾 數 ナ デ 倦 筋 テ 右 街 N ŋ 云 n メ 田 信 ブ 育 枝 株 賀 ュ 伽 道 事 フ 妙 テ 居 梅 Ш ハ = ハ ア 會 r ナ ヲ = ŀ ン ッ 事 ハ 振 ~ 法 物 林 郎 テ 普 デ n 緩 ナ 丽 寺 色 ヲ w テ テ ŋ ダ = 堅 7 催 引 居 洋 垮 諸 ٧, 小 r ッ Æ ナ 面 **≥**⁄ 通 ŋ 層 蔬 杉 白 テ 炒 力 タ 日 # ッ ッ イ 內 1 菜ヲ テ ナ 其 テ 林 此 中 早 採 = 返 キ 居 €/ ダ ۴, 保 居 竹 牧 梅 不 淮 = 暌 所 タ 集 シ v 栽 護 中 鎌 林 1 謂 家 1 思 野 + 前 ッ 2 藪 テ ガ E 老 タ 議 內 倉 見. 先 培 É 杉 偶 女 ŀ = 1 1 ハ 努 大 中 , 譽 酘 路 ダ とくら Ш 汔 v 4 Ŀ シ 1 田 然 木 メ デ 吾 行 J١Þ テ 老 足 = 梅 傍 師 シ = テ やぶ 其說 居 ガ ラ 思 Þ デ 先 小 末 キ 林 坐 見 右 ク 7 事 學 生 n v Ŀ , À W 牛 坂 デ W 向 側 = Æ 處 Ŀ タ ガ ヲ h. 力。 不 明 注 4 ハ ヲ , ハ は # = Œ ر ځ 搩 茂 1 ケ 行 連 搩 Ę 幹 槇 可 = 登 ガ ガ Æ ľ 間 ナ な 豳 多 梅 崩 ッ æ ヲ ₹⁄ 能 ッ 飾 紅 72 1 シ 迎 科 大 テ 1 イ 求 ク 張 曆 け ダ 1 ガ タ ナ デ 神 原 路 客 部 H 力 乘 ソ ij 僅 ヲ イ メ ア ŋ 實 な ラ 發 樣 分 寂 舍 タ 始 IJ 傍 硘 ヲ V = ち 矢張 金 兒 枯 時 涿 開 迎 村 F, w V ヲ ┶ 。 = ナ 鄉 物 文子 뽍 拾 11 テ w 代 僅 採 **≥**⁄ フ シ = 才 V 見 社 禮 力 町 Ŀ な 前 ハ ۱ر , 集 テ タ jν タ デ ァ 蔓 愛 進 是 朽 更 ブ = 木 , 7 氣 ŀ 1 1 ス 護 豫 N 玉 思 ス 野 ン = N 備 分 = 立 ハ V w チ 町 生 身 垣 口. 進 ナ 植 力 定 ガ 珍 ヲ ガ ッ ガ \blacksquare くす 情 接 ガ 通 ヲ 7 物 ラ 神 地 富 タ = ン モ シ 力 苔蒸 凭 テ 貴 ス ラ デ 7 ŋ ヲ 奈 衣 ッ ハ ン " Æ シ 綠 或 金 示 名 ッ A" 多 タ N セ テ 7 Ш 硩 事 ラ 澤 其 太 門 5 テ シ ナ ッ 1 **≥**⁄ モ 木 縣 實 どん ぶら テ ダ 處 力 蒐 ァ ガ 1 ヲ 亦 下 = 1 境 建 尺 居 ガ Ш 向 ラ ラ 傍 集 ~ 愛 な = = 着 內 金 ĩ 女 來 , テ 屋 位 ゥ ラ 於 ぶ フ N = = 松 タ 事 ح る 澤 , 意 イ 國 = ŀ **≥**⁄ ハ ケ 0 子 = = 六 新 ラ 旗 テ 伸 樹 ヲ ば 行 É ŀ = ゝ イ w ヲ 居 す 始 嬉 本 浦 中 上 (" ダ F, **≥**⁄ 1 注 ガ 74 r 3 豫 赤 菌 ッ 此 軒 食 t デ メ み 梅 1 グ 7 **シ**/ 力。 鄉 提 猿 定 久 タ H ヲ キ ゥ タ イ 0 木 ŀ w 先發 Š 實 公 名 第 九 社: ハ 灯 ナ ŀ 0 ヲ 杉 札 內 親亭 やま 鎌 るぐ 金 渞 1 ナ シ ヲ , 田 rt ナ 君 部 前 澤 更 着 眞 宗 產 ŀ" 倉 F., ナ 力 1 ٥, ٥, 似 人 デ = = キ み 行 ラ 匠 ヲ 地 此 大 ケ 登 前 町 テ 藪 鎌 指 v テ 事 Þ ŀ = 建 ŀ 枯 ŧ 家 ッ す 3, 制 進 居 變 倉 最 Z ナ ナ 7 ハ 1 テ 木 Ť, テ金 3 濳 先 す 更 ラ ヲ K ヲ ッ 中 = ッ = 布 續 雜 通 木 生 タ 洞 ハ タ IJ デ シ V Æ 老 賑 前 ァ ヲ 種 P ズ 札 タ 足 力 ヶ 併 木 道 金 進ル待がウ な デ ヲ ナ r IV

ナ

ィ

力

ラ

ŀ

セ ラ

其

恩

田

君

特

頭

髮

グラ 大切

乜

ラ

w

`

御

方

デ

ァ

jν

力

ラ

面

白

ィ

力

ラ

≥⁄

テ

5 大 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚ ヲ 正 7 酣 望 ィ N 五 テ 筈 ₹/ 年二月 汽車 ガ 冬 乘 喉 例 事. IJ ヲ 歸 濡 ŀ テ 見 + テ = 當 四 就 歸 В 1 ラ ナ 1 タ ね 第 ガ 力 4 叉 *> ヲ H 刄 採 部 矅 此 ŋ 牧 日 B = 野 催 採 Þ 先 集會 ハ サ 金 澤 Ŋ _> 0 事 神 力 奈川 ラ 實 だ 復 5 於 縣 F, 横濱 逗子 アル 太蔓 處 驛 方 ヲ 面 デ 力 採 ラ 終 ラ 神 引 y V 武 ŀ タ 寺 ナ 麓 シ IJ = 卦 去 夜 竹 ッ イ = 林 タ テ ス 中 採 者 ッ テ 集 モ 大部 ₹/ 7 タ ッ ⊉ タ 分 23 デ Ż 7 3 逗

ゖ 來うま Ű 形 見 ラ 此 オ ŀ ャ 夢 驛 夫 ኔ タ 郎 日 カ ŀ づ 0 力 子 テ ヲ Щ = Ħ = 曇 用 用 6 す ラ Ì 崎 馬 伊 ナ N = ŀ 金澤街 英太郎 吹 場 y ゥ ij ŀ ٤ ŀ Æ ガ 3 高 勝 ζ 嬢 篤 光 ダ テ 云 ノ ナ N 居 峻 サ 濹 び フ デ 1 z チ な 道 更 原 デ ゥ ガ jν べ あ 同 ŀ デ ñ キ v 屬 ヲ 松岡 田 八 ァ 3 ガ 云 = 支 3 ラ 辿 變 內 ァ Z) ダ み " ク グ 那 ガ るば 名 リカ左 形 忠 清 ナ タ N b 開 菌 孝、 恩 ソ 伭 原 ガ N 1 ハ らま 其實 側 暖 田 木 實 蒐 彌 ŀ V 集家 太郎 通 ガ 恩 君 云 力 4 の あく 小 野 \mathbf{H} デ 曰 フ ŀ ガ す 此 馬 永太 霜 , あ Щ 經 ŋ 小 ハ 霉 X デ 畔 介、 别 け び ゞ = 加 F な 美男 うさ び 附 麓 物 四 郎 野 ケ 1 遬 À ŀ 郎 庄 澤 デ ケ = ノ 道 Z) Z) 略 N. 吾 ヲ 7 , テ 氏 田 籾 づら づら 湯 根 鈴 武 あ お æ サ Щ ハ N 清 り Œ 泰 大久 太 可 = V = 似 行 デ 浸 靑 ば 郎 ナ 水 タ ŀ 2 保 呼 藤 び 木 テ 5 = IJ v 横尾 女 居 ¥ 篠 啓 惡 其 太 デ 香 ~\\ 加 ラ 粘 郎 7 0 崎 力 V 0 ŀ N ٠, 髮 Ø 則 CK す 汁 君 N 稱 ノ ッ 信 ッ 漢薬 デ 孝 ヲ デ 7, 四 刄 大 ノ シ タ 頭 洗 會 話 陰 津 デ テ 呼 옗 藥 ż 落合英 髮 門 勤 7 ブ 1 <u>=</u>. = ス ハ 木通 ナ N ヲ 3 用 ŀ 諸 ρ 洗 者 今 力 1 氏 小 N ナ = あ デ 事 玶 ١, 供 幷 ッ フ ŀ H ŀ 支那 牧 굸 デ 誠 タ 屯 ŀ = セ び 女高 鹿兒 髮 野 フ 緣 ラ ア ŀ 見 村 先 ガ , ガ v N び 久 サ 木 保 雄 生 ェ ア Ŋ ガ な 師 ガ 邊 ラ 通 ア あ 吾 h 1 \mathbf{H} 刀 ヲ w N 支那 美 n 木 始 サ 金 息 デ ŀ H K Z) > ٠, 角 謂 ラ 我 X 村 藏 7 メ b 此 文子 國 ナ 淸 ŀ ŀ V 干 栗 云 皮 梳 ~ デ v N 水 チ 名 山 藤 九 ヲ ヅ テ 居 名 ラ 廣 テ 乾 ス あ 槇 太 美 崩 郎 V け N 通 ヲ 即 **୬**⁄ CK 其 品 テ 毛 元 チ 今 洗 種 カ 清 來 柳 ガ 實 云 髮 ラ あ 町沼水藏 元

京植物同好會野外採集ノ 記

君 Ŀ だ ス ヌ 園 取 吾 青 ガ 形 し け IJ タ 日 タ h 相 だ 即 \tau 全 y 3 田 N モ モ ヲ 本 モ Z) 太 爽 歯 千 湋 , 敷 チ , ァ ŋ ナ 圃 本 朵園 心 ナ デ 力 古 快 ほそばかなわ n ナ ヲ ダ 3/ 來 デ Pallavicinia デ 光 赤 オ 1 ア 1 ナ ヲ 浩 ŀ 1 7 ŀ 相 喜 百 保 n ۲ IJ 牧 專 び N タ ŀ 護 若 野 ij N 風 ナ 神 な ヲ シ ハ 车 子 肥 朓 沂 先 致 h 名 シ テ サ ッ 武 = 必 耻 古 後 同 か ヲ ヺ ズ テ イ 寺 生 工 × UC 制 要 自 5 刹 年 タ テ 力 = 居 杉 ガ ジ づ び、 說明 定 7 此 腐 負 間 7 b 萯 ハ **≥**⁄ ハ jν 何 置 大 赤 ス 天 IJ 亭 植 ス 1 道 カラヌ處 1 は 種 のとぎりしだ、 木 台 n デ 事 w ŀ Þ + ŀ 力 ナ サ 1 7. ハ岩ニ密着シテ完全ナル 事 慨 宗 セ タ ッ 又 ァ ガ w v 豆 デ 浲 ッ رر jν N ナ ガ 么 谷 タ ア テ v jν ヲ 坂 今 ァ ラ 决 屬 杉 h = シ ニ出ヅ濕メレ 小 = ガ ٧٧. n 山 居 嚴 んぼ ス = 立 此 ラ **≥**⁄ ₹/ 力 w サ ソ 0 n 放桑園 ラ 去 實 テ 大 寒 キ タ ッ ッ ۱۷ シ Z Æ 其策 リ難 小 居 木 < ŀ 谿 テ 夕 ラ ァ ね ۱ر) 十文字しだナド能 射光 往時 酷 砂 晔 = 3 Z) N 水 ガ ٠, 實 岩 着 君 現 ヲ 伐 暑 ィ (Fern garden) ā 此 づ 韛 思 ρ 全 住 大 ラ ŀ 南 Ż, ヲ ケ 植 砂岩壁で 庭 石切場 づら 人に 杏 職 t, ガ ガ 薄 v タ 五 物 見舞 チ 樣 濢 ス 味 ネ ア 園 メ デ モ 牧 n 弱 ٧٧ 水 n 子 ナ ラ 知 ٠, ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゚ 形 野 ガ ラ過 有 方 1 亦 ヒ = 6 ナ イ ヲ採 先 其 部 充 1 おり 光 力 涸 7)-ガ n 樣 ニ就イテ全ク無智ノ 親 ヌ ゥ u ク生育シテ居ル殊 ギ テ 古 で ア N ハ jν [′]づる 谷間 標 痲 モ ゥ 木 如 ラ 特 7 來 ŀ テ = 弱 杉 懇 事 ナ 名 本 武 ク v = る ハ 困 丰 林 1 + 何 = ヲ 意 目 ţ ア = タ デ 72 ロッタ腐 態 だ、 ラ 此 日 叢 處 石 立 7 ぶ = 1 モ 光ト程 生 Þ 間 Щ 下 到 N. = 1 ツ w B 0 懐 オ 据 道 3 柄 y 此 デ É ス が モ 植質二富メル厚キ褥ニ b à デ テ 美 ア ハ w = な ハ ハ 中 實 リ様 來 差 こりゃうめ ス あ Ķ 3 n 類 者モ此 Ŕ 實 行 食 シ = キ ャ ッ を含ノ **≥**⁄ 力 3 濕 ・ラ見當: カラ 斯 ナ テ 7 ス # カ 道 ラ 條 デ タ 歡 當 ジリ穏 į, Ď 自 力 ` ソ 右 ハ 木 處ニ 茂リ 流 待 寺 然 N 照 進 ッ 0 大 v 材 葉 L カ ラ Þ デ 臣 シ v ン ح 茂レル ヲ が苦類 ナ 見 藥師 齒 だ 又 25 テ 1 ア デ ŀ 紙 類 'n だ 道 曲 反射 ねか 7 杂 ダ 街 云 園 氣 テ y レ 如 ノ 折 フ 2 如 りゃう 繁茂 菓子 ŋ IJ 來 生 流 分 づら ねか モ シ 3 þ 7 叉 冬ノ ダ 幹 ヲ 亦 育 易 y ŀ 具 テ 薄 B ヲ サ 砂 快 事 本 滅 5 0 合 づら 右 ŀ = 齒 滴 岩 右 似 伊 貧 ブ h B す 氣 7 3 削 タ 吹 デ 杂 入 = イ 分

L. japonica Mrq.

、唉々花冠

ノ舷

部

ガ假 謂

面狀

ヲ呈シ花筒

ノ下部ニ下ヲ指シ

タ距ガア

ッ

^ F

÷

崩ノ

類デハナイ是レハ

語ガ出 梗 タ上段 卷 タ飽 がね 金鈴 吹 iv ハむくろじノ實ヲ振 `寶庫 此 + 細 テ !クマデ採集 ぜんない、 谷 來 ノほるとの 4デアル 組 如キ ハ ラ タ其實ヲ拾 更二 アル シ 緩 實ヲ テ喜ン デ居 此 前 タト 處 ふもとしだ、 變種 シ さハ一抱 或 テ此谷ヲ出デ鐵路ヲ横ギリ横須賀街道ヲ右ニ逗子ニ向ッテ進ンダ一番後トノ 步 谷 = ラ喜ンダノハ小供バカリデハナイ四十面 ヤ 腐 ゙ヺ 多キいづせんり。ラニハ小サキ蕾ヲ澤山着ケテ居タ又たにじゃかうさうノ枯レタから ツ落 ーデアル 3 霰 木 運ビ先生ハ途中農家 ロッタ、 リハ一層優レタ自然ノ歯朶園デりゃうめんしだガ一面廣ク生イ茂リ其間ニベ ト降ラ ニアマル大木デ珍ラ 當 ス ŀ 延 ラショ へらしだ、くりはらん、おりづるしだ、ほうびしだ等盛ニ繁茂シ確カニ是等植 歸リニハ登ッタ道ノ 也 生地藏堂 テ一抱餘 タ會員 變形 ガ ノ右手裏山 喜ン 大木ニま 菌 ノ前ニ切り倒サレテアッタざくろノ幹ノ直徑四寸 ヲ デ拾フコト **≥**⁄ 搩 ィ サ 反對側ノ谷二降リタからえふざんガョク育チ數十 しらノ如 ノ中ニ進ミふうたうか カラ保護 V Ø ガ 涿 拾フコト、 (ノ男ガ其實デ笛ヲ作ッテピー ク攀ヂ登リ三丈餘 シ 發見 タイ石門ニ サ 玆二於テカ新 v ズ づら、 澤山 磋 念 ノ高 ナ じゅずね ッ v キ枝 = はたばこガ生ズ 木庄大盡 三乘 ヌ ۲ ت のき y 位ノ 盛 チ 君 ا ع 、黄金播 牧野 **ŀ**" æ 搖 うら п ヲ v 先生 ノヲ見 ·株並ン ŀ 採 ガ IJ 是 キナ 動 ÿ ラ取 ヵ゙ 力 加 ヲ

デ V

花

枝 片 葉 (其十六)

ざくろ

ラ材

ハメッタニ

得ラレヌカラトテ之ヲ求メ逗子驛前

運送屋ニ賴ンデ自宅へ送ラレ

富 太 顖

牧

野

ト稱シ本邦唯一ノ同屬代表者デアル此草ノ本名ハきんぎょさう(花形カラノ見立テ)デアルガ今 海邊砂場ニ生ズルごまのはぐさ科 テ Linaria 屬ノ標 ノ宿根草本 徴 ヲ表 シ デ テ居 アッ iv テ 學名ヲ 夏

斷 片

前

號

糬

明

幷

=

Æ

誤

海 蘭 え義 デうみらんガうんらん majus Ľ ŀ ナ ヲ きんぎ ッ タノ デア ょ ささう N 海 ŀ 稱 海 ス 野 n ナ カ F, ラ 1 此 樣 方 = ハ Š 能 Ĺ ク 其 6 ř 音 便 名 デ ź デ h 呼 ŀ ン ナ デ 居 n 1 n デ Š ァ んら Ĺ ŀ

草三似 分此 太 合 ゃうもんかづら + 棍 ナイ大紫花 棒狀花冠 ラ波 ラ開 ノ意義 キ其花筒 ノ渡邊綱 Meehania urticaefolia ガ 太ク長 羅 生 一門デ切り ク長サガ凡 収 ッ ŋ 鬼 Makino. 寸餘 ラ太 ŀ Æ 7 腕 ノ學 ıν = 見 此 草 名 立 ・ヲら ラ有 テ 之 ヲ L ス サ Þ n ゥ 5 唇 呼 B 形 h 科 ン \$, ダ 1 / 蔓狀宿 づ デ らト ハ ナ 根草 名 イ カ ケ Ø ŀ ハ 春 思 , 其

井 紀 シ 念物 序 テ 君 É 崩 ガ 右 É 井 保 存 君 會 井 協 シ 關 評 テ L 會 デ 頂 議 係 ノ 1 發 字 キ 員 表 評 A ナ デ Æ **୬**∕ イ 私議 ィ 7 事 員 ッ 頭 タ タ ŀ ヲ 天下 天然紀 N = Æ 白井 中 力 ン ク A" = = 念物保 天然紀 光 釋 力 ハ 閃 大郎君 ラ 明 シ ŀ 力 念物 テ置 存會 ズ ン 白 Þ. カ 迷惑 ラ 三對 保 井 君 御 存 會 え ヲ ヲ は 目 が 同 ル 1 きョ下 標 多 植 君 數人 物 = = 部 及 ス n ナ 士 ボ ガ 間 振 シ V J 誠 題 感想 Ø ハ ゛ガ ナ 元來 相 イ ハ 毛 濟 1 頭 私 議 ハ 7 事 ヌ Æ ガ = 實 次 觸 7 關 第 デ 1 **≥**⁄ デア ナ 文 テ ~ 力 ヲ 內 N 草 務 デ n ッ 隱 妶 タ ス 居 n 時 仕 ァ 折 史 1 白 蹟 事. 惡 論 井 名 ヺ 7 偶 君 ₹/ 勝 テ 天 白對然 決

其 N 事 ャ ガ 言 其 ゥ 盡 ナ 力 部 有 旬 ヲ シ 衆 # 獨 デ 人 占 ア 重 シ n 期 シ テ 居 待 ŀ ゥ ッ ス = 結 グ 副 N 所 果 ŀ ハ 思 デ V デ ァ 7 ン 事 N v N 第三 ヺ 力 屻 ラ 白井 者 現 望 狀 君 ス 聽 w ヲ ۸ر 植 是 洞 テ見 物 察 方 シ N ハ 备 應 面 ガ 緣 = デ ョ 萬 オ ヲ モ 排斥 元老 是 人 v 言 株 ż ハ 畢 大 デ ハ 愛 竟 ン = 當局 僧潑 ŀ 刺 欲 偏 頗 ス = B 獻 ナ iv n 適 所 ŋ 何 材 シ 或 事 ガ Æ 網 , 家 = 羅 デ , Æ 爲 ァ 公 **3**/ 明 N テ = 其 切 ナ 牧野 實 刷 " 新 小 デ 從 數 ヲ 圖 テ 1

く津 3村 ん重 い舍 ち民 げ肖 ク像 文下 、 一行 花時、 Dyûsha 花時 (72)頁、 八行 廣ルトン 東 廣東

前

號

Œ

00

口口

繪繪

rt



Vol. III.

No. 4.

April 30, 1926.

| CONTENTS. | |
|--|----------------|
| Tomitarô Makino, A Contribution to the Knowledge of the Flora of | PAGE |
| Japan. (Continued from p. 12.) | 10 |
| ARTICLES IN JAPANESE:— | 13 |
| Portraits of Japanese Botanists: Prof. Kingo Miyabe Frontis | mian |
| Lilium auratum Lindl | Dlete Spree |
| Amorphophallus Konjac K. Koch | Diate |
| Tomitarô Makino, On the Tôkyô Botanical Club. (Illust). | 779\ |
| Yasuhiko Asahina, The Raiken's Soliloquy on Botanical Science, III. | (75) |
| (filiant) | (77) |
| Mitsutarô Shirai, Catalpa ovata G. Don, including Betula ulmifolia Sieb. | (77) |
| et Zucc., the Latter used in Ancient Times for making Bows. (Illust.) | (79) |
| Seiichi Kawamura, Polyporus sulphureus Fr. used as a Tinder. (Illust.) | (10) |
| Takenoshin Nakai, Trochodendron aralioides Sieb. et Zucc. and T. longi- | (04) |
| folium Maxim. (Illust.) | (85) |
| Hisayoshi Takeda, The Double-petaled Flower of Trillium kamtschaticum | (00) |
| Pall. (Illust.) | (86) |
| Masasuke Ogata, On the Problem of the Digestion of, and Details of | (00) |
| the Floral Portion of Amorphophallus Konjac K. Koch. (Illust.) | (87) |
| Kiyotaka Hisauchi, Trichocolea tomentella Lindb. from Mt. Arisan, For- | (01) |
| mosa. (Illust.). | (90) |
| Shinshirô Shinozaki, An Account of the Botanical Excursion by the | (90) |
| Members of the Tôkyô Botanical Club. I | (91) |
| Tomitarô Makino, Miscellaneous Notes on Plants, XVI | (95) |
| Tomitarô Makino, An Elucidation and Corrections in the Last Number. | (96) |

Published by the Tsumura Laboratory, No. 505, Kamimeguro, **Tôkyô, Japan.**

> Subscription-Price 7 Yen per Volume (12 Nos.), Post Free, to Foreign Countries.